

# 金融庁第七回「中国金融研究会」

野村ホールディングス（株）

中国企画部

2021/12/8

# 野村東方国際証券について

## 中国初

- 中国初の外資系が過半数出資する証券会社のうちの一社
- 中国で証券営業ライセンスを取得した新設外資系証券会社第一陣



**NOMURA** 上海黄浦投資控股(集团)有限公司  
SHANGHAI HUANGPU INVESTMRNT HOLDING(GROUP)CO.,LTD



24.9%



51%



24.1%

野村東方国際証券有限公司  
Nomura Orient International Securities Co., Ltd



上海本社  
Shanghai Head Office



- 中国企業トップ500第175位
- 中国最大の紡績衣料品グループ、中国最大の紡績衣料品輸出企業
- 上場企業4社、所属企業480社、営業収入1,139億元

上海黄浦投資控股(集团)有限公司  
SHANGHAI HUANGPU INVESTMRNT HOLDING(GROUP)CO.,LTD

- 上海黄浦区国有資産監督管理委員会による出資で設立した完全国有企業

## 中国にコミットメントし、質の高いサービスを提供

野村東方国際証券（以下「NOI」）は、野村グループのアジア戦略の中心となる総合証券会社です。中国市場の多様な投資商品とサービスを顧客へ提供することに尽力し、グループのグローバルな経験とローカルのアドバンテージを融合させ、中国の資本市場発展を推進します。

- 経営範囲
  - 証券ブローカレッジ
  - 証券投資コンサルティング
  - 証券自己売買
  - 証券資産管理
- 野村の富裕層ビジネスの実績・知見を活かし、勃興する中国の富裕層個人向けビジネスから着手、ホールセール・ビジネスを含めた他ビジネスへと展開します。
- 改革開放の進展をにらみながら、将来的には総合証券会社を目指しております。



## 中国で拡大するNOIのビジネス

野村東方国際証券  
有限公司

北京支店 ●

上海支店 ●

NEW 浙江支店(申請中) ●

NEW 深圳支店 ●

### グループの強みを発揮

日本・アジアでの総合力



グローバルな情報を中国へ

- 年間100件の顧客向けイベントを開催(日本・野村アジアのサーチと協働)
- 「日中資本市場研究フォーラム」  
- 金融当局、業界団体、証券・運用会社のトップマネジメントなど約100人が来場、オンラインで延べ22.5万回のアクセス

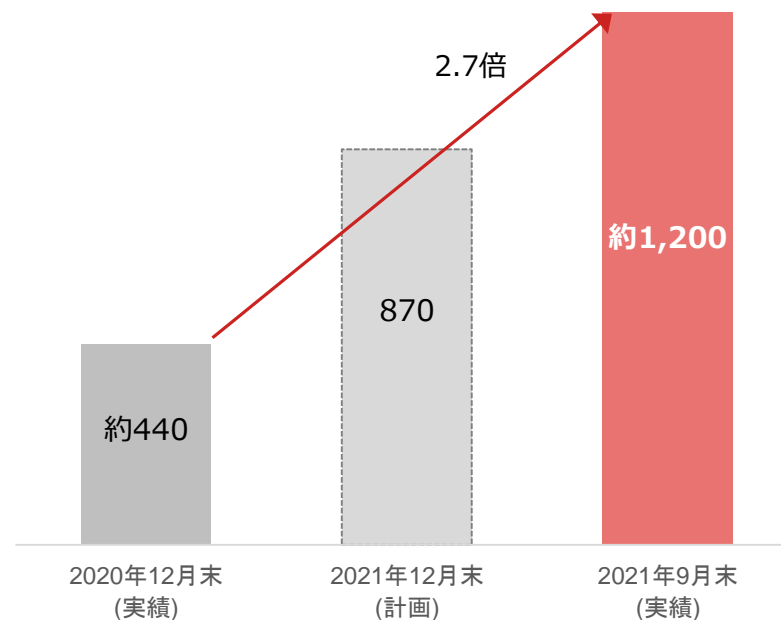
### 口座開設は年間計画を上回って進捗

<富裕層ビジネス>

- 上海を起点に富裕層の多いエリアに支店開設(4支店へ)
- 対面中心にコンサルティング・サービスを提供

<機関投資家ビジネス>

- 一定のセグメントを定めて戦略的にアプローチ



# 日中資本市場研究フォーラムについて

- 中国政府関係者、金融機関のトップマネジメント層等にもご参加頂き、グローバルなウェルスマネジメントとアセットマネジメントの最新動向について共有

## 日中資本市場研究フォーラムについて

### ■ 概要

名称：日中資本市場研究フォーラム(Capital Market Research Forum)

日時：2021年11月18日（木）9:00 - 17:00(※日本時間10:00-18:00)

形式：オンライン・オフライン併用、於：上海(上海浦東マンダリンオリエンタル)

主催：野村東方国際証券(NOI)

### 会場の様子



## 主なアジェンダ及びスピーカー

### ■ アジェンダ

- グローバルなアセットマネジメント業界の潮流を築いた米国の歴史と変革
- 共同富裕方針における中国ウェルスマネジメント市場の将来図
- アフターコロナ時代における世界のアセットマネジメントの新たなトレンド
- 日本のアセットマネジメント会社のESGに対する取り組み
- ウェルスマネジメントビジネスで先行するシンガポールの振興策
- 高齢化で先行する日本の個人金融資産の変化  
など

### ■ スピーカー

- 野村資本市場研究所主任研究員
- 野村アセットマネジメント
- 野村証券、他

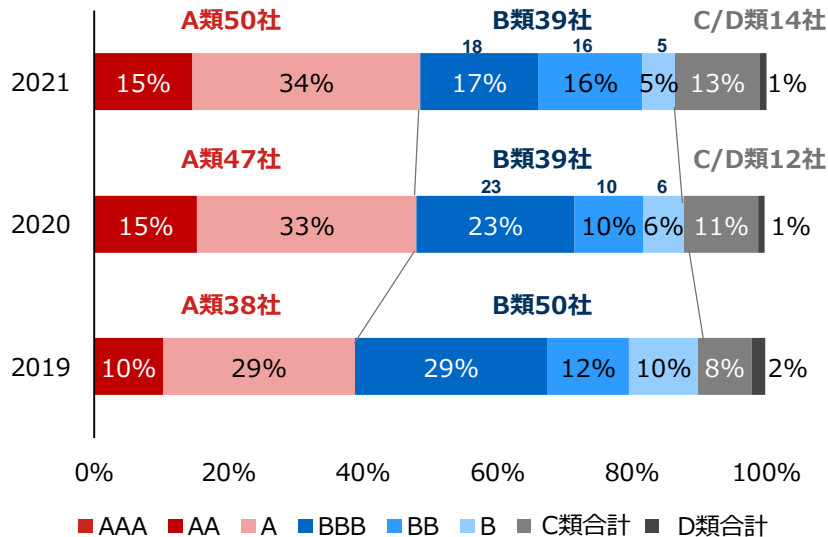
# 証券会社格付について

- 外資系金融機関に対しては規制緩和が続いてきたが、参入した後の道のりはまだ厳しい
- 中国では、証券会社には外資系にも格付が行われ、ローカル証券会社との相対評価であるため、進出直後の外資系は新規ライセンスの取得が困難

## 証券会社格付の概要

証券会社の格付評価は相対評価である。A類、B類、C類といった大分類にかかる証券会社数の比率はCSRCが事前に決めている（『証券会社分類監督管理規定』第十七条に基づき）。そのため、各証券会社の格付結果は、自身の加点及び減点項目のみならず、他の証券会社の点数も影響。

### 証券業界格付分布状況



## 格付の加点項目（2021年度）

格付の加点項目には、収入の上位となることを求められるものが多いが、参入直後の会社は限られたライセンスしか持っていない

### 以下が主な加点項目

- ビジネス規模の業界地位：トップ20位など
- IT投資：営業収入に占めるIT投資金額の割合が業界のトップ20位以内など
- リスク管理及びコンプラ：主なリスク指標が3年継続的に達成すること、リスクカバー率が130%に達すること、リスク指標連結管理など
- 社会責任及びその他の加点項目

# ライセンスについて

## ライセンスについて

- ライセンスを申請する際には、格付を要件として求められることもある（例は以下の通り）

ライセンス	申請必要な格付要件
OTCオプション一級ディーラー	・直近1年の格付はAA級以上
OTCオプション二級ディーラー	・直近1年の格付はBBB級以上
中小企業私募債引受	・直近1年の格付はBBB級以上
非金融企業債務融資ツール主幹事業務	・直近1年の格付はAA級以上

- CSRCに業務ライセンスを申請する場合の基本的なルール（「証券会社業務範囲審批暫定規定」）

- 一度に申請できるのは2つまでのライセンス
- 前回、ライセンスの許可を得てから6ヶ月経過した後、新たなライセンスを申請することができる

- CSRCは証券会社のライセンスの追加申請を受理した日から3ヶ月以内に、認可または不認可の決定を下す。一方で、実務上、証券会社が申請に関する資料を提出してからCSRCに受理されるまでは時間がかかる。加えて、受理されてからも、CSRCからの質問にフィードバックを行う必要がある場合、その回答資料を準備する期間は、上記の3ヶ月には含めないものとされている。（「証券法」）

## アセットマネジメント業界について

### AM市場規模の 拡大

- 中華圏（中国・香港・台湾）のアセットマネジメント市場規模は、弊社試算で約14兆ドル（うち中国は11兆ドル）
- 世界市場規模が約100兆ドルであり、米国（約42兆ドル）、欧州（約23兆ドル）に次ぐ
- アセットマネジメント市場規模はGDP成長率との相関性が高く、中国の経済成長と富裕層の拡大を考えれば、今後の中華圏におけるAM市場成長率は他地域と比較して高い水準で推移すると想定

### 競争の激化

- 中国政府による対外開放政策が進められている中、外資AM会社は中国での布陣を拡大
- フィンテックの台頭やオンラインでの直販など販売チャネルの多様化
- 「大資産管理」コンセプトを背景とした銀行、保険、証券、信託、資産運用会社（公募・私募）、非金融機関を巻き込んだプレーヤーの多様化など、中国独自の発展形態の中で無数の資産運用会社が差別化を模索することを想定

### 国際分散投資への 潮流

- 規制緩和の方向が明確であるため、ライセンスに関わる特段の要望の必要性は感じていない
- 外資が差別化する要素の一つがQDLPやQDIIなどを活用した海外投資であることに変わりはない
- 残念ながら、QDIIが開始された2007年以降2016年の急激な人民元安の時期を除いては、中国の一般投資家の海外投資ニーズは決して高くない
- これは、中国国内のイーロードが比較的高く、為替リスクを取ってまで海外投資をする必要性を感じていないことが主因と想定
- これまでは海外投資の主流は、海外に上場する中国企業への投資や中国企業の発行するドル債への投資であったが、昨今の情勢をきっかけに変化する可能性がある
- 中国政府が高齢化を迎える中国人民の資産形成のために一般投資家による「真の」国際分散投資を後押しする活動をサポートすることが、民族系・外資系のアセットマネジメント及び中国一般投資家にとって良い方向になるのではと史料